



YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学



山口大学大学院理工学研究科 安全環境研究センター セミナー

山口県の橋梁を考える(10)

～市町が管理する橋梁の長寿命化計画実施例～

日時：8月7日(金)13時から

場所：山口大学常盤工業会館2階会議室 (山口大学工学部前)



【主催】

山口大学 大学院理工学研究科 安全環境研究センター

〒755-8611 宇部市常盤台2-16-1, miya818@yamaguchi-u.ac.jp

山口県 土木建築部道路整備課 市町道班

〒753-8501 山口市滝町1番1号, tatewaki.kengo@pref.yamaguchi.lg.jp



山口県の橋梁を考える(10)

～市町が管理する橋梁の長寿命化計画実施例～

山口県は三方を海に囲まれ、約 1,500km の海岸線を有します。また、中国山脈によって山陽側と山陰側に分断されており、気象特性などに大きな地域差が見られる上に、平地が乏しく地形が錯綜して急傾斜地が多い特徴があります。このような地理的特徴を有する山口県では、現在約 3,500 橋の管理橋梁のほかに 13 市、6 町の市町管理の中小スパン橋梁を含めると、実に 14,000 橋に上る膨大な量の橋梁ストックが整備されてきています。現在、山口県と各市町が連携してこれらの既存橋梁の長寿命化のための計画的維持管理を、定期点検データや詳細調査データを得ることにより実施しようとしています。しかし、地理条件、気象条件の異なる各市町間の橋梁点検に関する取組みや健全度評価、補修・補強方法などに関する情報交換が十分とは言えない状況がみられ、将来同じような不具合・失敗例が繰り返されることが懸念されます。

そこで、山口県土木建築部道路整備課と山口大学安全環境研究センターとが共同して、県内各市町間や先進的な他府県の例などに学ぶなど継続的な情報交換の場として、H23, H24, H25 および H26 年度に引続いて第 10 回目のセミナー（H27 年度 1 回目）を計画しました。第 10 回目となる本セミナーでは、一つの区切りとして、これまで各市町において鋭意検討されてきた橋梁長寿命化計画の具体例を概観・整理するとともに、今後の方向性を提案してもらいます。また、今後 5 年に一度の近接目視点検が義務付けられた山口県内既存橋梁点検の合理化手法の可能性に関して詳細に紹介してもらいます。さらに、引き続き、県内の代表的な市町での橋梁長寿命化計画策定後の具体的な実施例を含めた、評価・検証、見直し（PDCA）過程の独自の考え方を具体的に紹介してもらいます。このような県内の既存橋梁の長寿命化計画とその実施、検証を通じた安全で安心な地域作りを目指して、セミナーを企画しましたのでご案内します。ご多忙のことと存じますが、是非とも多数の関係者の方にご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

報告会のスケジュール

(敬称略)

時間	内容
13:00～13:10	<u>開会</u>
13:10～14:00	<u>基調講演 1</u> ：「山口県内の橋梁長寿命化計画の現状と今後の課題(仮題)」(50min) 山口大学名誉教授(工学博士) 宮本 文穂 氏
14:00～14:50	<u>基調講演 2</u> ：「ラジコンヘリを利用した橋梁近接目視点検の合理化(仮題)」(50min) (樹構造物クリニック 技術課長(元山口大学 助教)(工学博士) 江本 久雄 氏
14:50～15:10	休憩(20min)
15:10～15:45	宇部市の橋梁長寿命化修繕計画について(35min) 宇部市 道路河川建設課 渡辺 一正 氏
15:45～16:20	長門市の橋梁長寿命化修繕計画について(35min) 長門市 油谷支所 大中 玄毅 氏
16:20～16:30	<u>閉会</u>
17:00～19:00	<u>意見交換会(予定：場所未定)</u>